

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業の現状（DOC）	事務事業名	No. 700107	心の電話相談事業				主管課名	子育て支援				
	この事務事業の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成				課長名	小野田 猪之吉				
		施策	地域で青少年を支えるまち									
		基本事業	青少年の健全育成									
	(1)事業の概要											
	少子化、核家族化が進行する社会経済構造の下、携帯電話や情報端末等が青少年にも普及しているが、それらの電子機器は必ずしも青少年の悩みを解決したり、正しい方向へ導いてくれるものではないことから、青少年やその保護者の悩みを少しでも解消するため、心の電話相談員が電話によるカウンセリングを行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名称	単位				
							相談日開設日数	日				
							その指標					
	(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		電話相談：毎週土曜日（祝日及び年末年始を除く）の午前9時～午後5時まで。 相談員：5人で午前・午後各1人で実施。（5人のローテーション） 相談員の情報交換（年4回、3か月に1回）及び研修会の実施。									
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
青少年及び保護者						名称	単位					
						青少年人口	人					
						実家庭数	世帯					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
青少年・保護者の悩みが相談により軽減、解消されるようにする。						名称	単位					
						相談件数	件					
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
心身ともに健全に成長してもらう。						名称	単位					
						青少年補導員の定期巡回箇所数	箇所					
						心の電話の相談件数	件					
						成人式への出席率	%					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		日	50	50	50	50	50	50				
(6)の対象指標		人	13,942	13,955	14,055	14,155	14,255	14,355				
		世帯	5,414	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500				
(7)の成果指標		件	81	69	80	80	80	80				
(8)の結果の成果指標		箇所	85	87	89	91	93	93				
		件	77	68	77	77	77	77				
		%	75	73	73	73	73	73				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	02
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	1,008	823	548	548	548	548				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	1,008	823	548	548	548	548				
人件費B		千円	222	752	752	752	752	752				
正職員従事時間×人数		時間×人	60×1	100×2	100×2	100×2	100×2	100×2				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用C		千円	19									
トータルコストA+B+C		千円	1,249	1,575	1,300	1,300	1,300	1,300				
単位あたりコスト (トータルコスト/ (6)の対象指標)		千円/人	0	0	0	0	0	0				
		千円/世帯	0	0	0	0	0	0				
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	700107	心の電話相談事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和57年度から			
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
青少年及び保護者等の悩みを少しでも解消する。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化した内容		
変化している		青少年を取り巻く環境が複雑化している。		

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令		
			自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
					この事務を行う根拠又は理由	みよし市心の電話相談員設置要綱	青少年の非行を未然に防いだり、家庭内での青少年・保護者の悩みを解消する。
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由		
			結びつかない	→			
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	拡大	内容	
			できない	→	縮小		
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	追加	内容	
			できない	→	拡充 絞込み		
		(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→	理由又は内容		
	多少影響がある						
	影響はない						
有効性	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容		心の電話相談事業の対象者へ周知をする。	
	1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない					
効率性	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	庁内事業	類似事業との再編の可能性	小中学校は学校相談員、スクールカウンセラー等を配置。	
		ない	→	庁外事業			ある
公平性	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	現状で適正	内容		
		ない					→
		受益者がいない					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	青少年の問題行動は、地域社会の問題を反映しているため、社会の変化に応じ変わっていくので、継続的に実施していく。小中学生の相談件数は減少している。(大学生、勤労青年が増えている。)					